

令和五年度学力検査

A  
国

語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問題用紙

注意

- 一、「開始」の合図あいずがあるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **5** までで、八ページにわたって印刷してあります。  
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄らんに受験番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図しゅうりょうで、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 空に太陽が輝く。  
 ② 五年ぶりの優勝を遂げる。  
 ③ 出場する選手を激励する。  
 ④ 空き地に雑草が繁茂する。  
 ⑤ 開会の時刻をつげる。  
 ⑥ 生涯の師とうやまう。  
 ⑦ 生徒会長のせきにんを果たす。  
 ⑧ 友だちと公園をさんさくする。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

- (一) 傍線部分(1)「行こ」は動詞であるが、波線部分①～④のうち、動詞の活用形が「行こ」と同じものを一つ選び、その番号を書きなさい。
- (二) 傍線部分(2)「そう言ってくるりと背を向けると、そのまま部屋から出て行った」とあるが、壮太がいなくなった後のぼくの気持ちについて、直喩を用いて表現している部分を、本文中から十字以上二十字以内で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)
- (三) 傍線部分(3)「午後は部屋で漫画を読んだ」とあるが、「午後は」は、どの文節を修飾しているか。次のア～ウから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、部屋で                      イ、漫画を  
 ウ、読んだ

- (四) 傍線部分(4)「壮太だ……。赤青黄緑銀金、いろんな色の折り紙で作った紙飛行機は、三十個以上はある」とあるが、紙飛行機を見つけ**て**ぼくはどのような考えるようになったか。壮太がいなくなった後の**ぼく**がどのようなになると壮太は思っていたか**に**ふれて、「……と考えるようになった。」にながるように、本文中の言葉を使って六十字以上八十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(五) 本文の描写びやうしやについて説明したものと、最も適当なものを、次のア、エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、ぼくと壮太たがの関係が、お互いたがの気持ちを理解し合うことで深くなっていく様子を、二人の会話を中心ちゆうしんに描えがいている。
- イ、ぼくと母親ちかの考え方の違いちがを対比的に表すことで、わかり合えない親子関係に思い悩なやむ母親の姿を描えがいている。
- ウ、壮太にぼくとの過去を振り返かえり語りかえらせることで、ぼくとの楽しかった生活に満足まんぞくしている様子を丁寧ていねいに描えがいている。
- エ、ぼく自身みづかみが心こころの中で思おもったことを詳細しやうさいに表現ひょうげんすることで、他の登場人物が気づきづいていないぼくの内面うちめんを描えがいている。

(次のページへ) ↑



(四) 傍線部分(3)「私たちの心の中には『快適領域』の他に『学習領域』と『危険領域』という領域があります」とあるが、本文中に述べられている「快適領域」、「学習領域」、「危険領域」の三つの領域における心の状態について次の表にまとめるとき、表の中の a c に入るか。あとのア、オからすべて選び、その記号を書きなさい。なお、ア、オの記号はすべて一回ずつ使うこと。

領域	心の状態
快適領域(コンフォートゾーン)	a
学習領域(ラーニングゾーン)	b
危険領域(デンジャージーン)	c

- ア、新しい体験にワクワクを感じる  
 イ、居心地がいいので出たくない  
 ウ、逃げ出したい  
 エ、意欲的に挑戦してみよう  
 オ、ワクワク感よりも恐怖や不安の方が強い

(五) 傍線部分(4)「大事なのは、自分のレベルよりちょっとだけ上の目標を立てる、ということですよ」とあるが、次の a の中は、自分のレベルよりちょっとだけ上の目標を立てることが大事であることについて、筆者の考えをまとめたものである。 b に入る言葉を、ドーパミンの効果にふれて、本文中の言葉を使って三十五字以上五十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

いきなり難しいことにチャレンジすると恐怖や不安を感じてしまうが、ちょっとがんばればできそうなことに挑戦するとき脳内にドーパミンがもつとも大量に分泌され、 c 最終的に「大きな目標」を達成できるため、自分のレベルよりちょっとだけ上の目標を立てることが大事である。

(次のページへ) ←

次の文章と、文章についてのたくやさんとよしこさんの【話し合いの様子の一部】を読んで、あとの各問いに答えなさい。(八点)

(注1) これは、わずかな時間を惜しむ必要がないと、よく分かっているためなのか、それとも愚かであるためなのか

なま 怠けている人

一銭はわずかではあるが

寸陰惜しむ人なし。これよく知れるか、愚かなるか。愚かにして怠る人のために言はば、一銭軽しといへども、是をかさぬれば、

貧しき人を富める人となす。されば、商人の一銭を惜しむ心、切なり。刹那覚えすといへども、これを運びてやまざれば、

命を終ふる期、忽ちに至る。

時期 仏道の修行者は、遠い将来にわたる歲月を

惜しむべきではない

現在の一瞬が

されば、道人は、遠く日月を惜しむべからず。ただ今の一念、むなしく過ぐる事を惜しむべし。

(『新編 日本古典文学全集 徒然草』による。)

\* 一部表記を改めたところがある。

(注1) 寸陰 —— 「二寸の光陰」の略。わずかな時間。

(注2) 刹那 —— きわめて短い時間。一瞬間。

【話し合いの様子の一部】

たくやさん 私はこの文章を読んで、一寸の光陰軽んずべからずということわざを思い出したよ。

よしこさん 筆者の兼好法師は「徒然草」の中で、自分の考えや意見を自由に述べていて、今回の文章では、時間の使い方についての考えを述べているよね。

たくやさん それから、商人のたとえ話③が書かれていることで、筆者の言いたいことが分かりやすく感じたよ。

よしこさん そうだね。そのようなたとえ話や、文章の最後の部分で書かれている、仏道の修行者の心構えなどを通して、

筆者は言っているんだね。

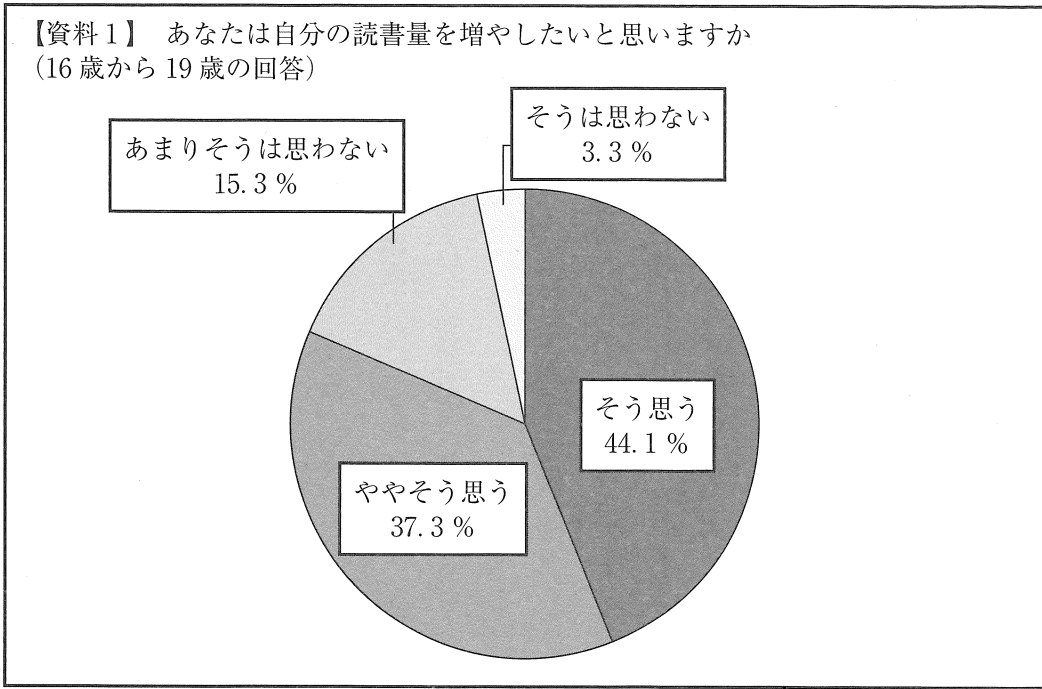
④

べきだと



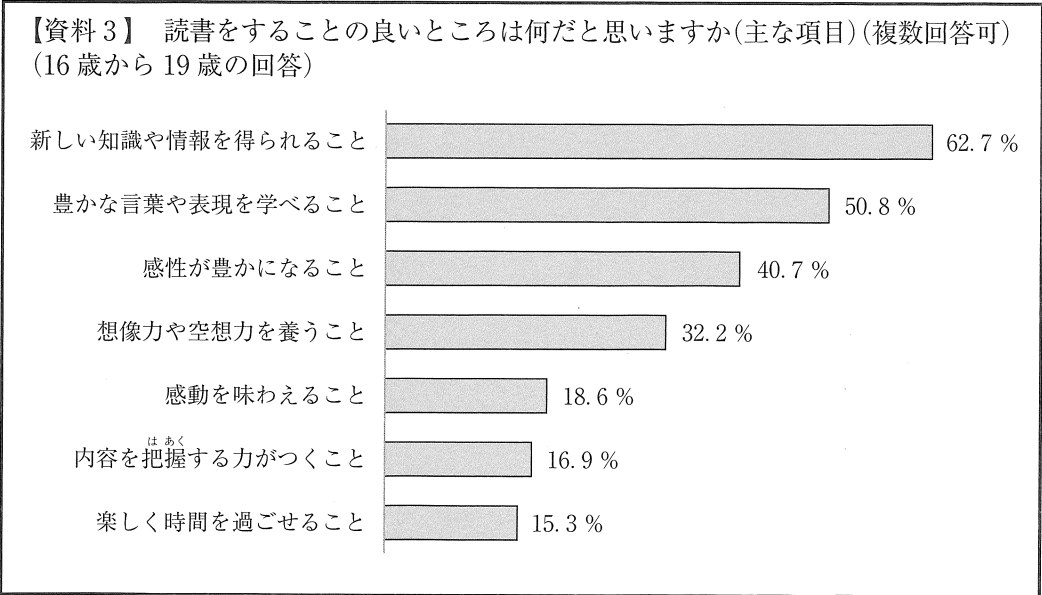
5

次の【資料1】、【資料2】、【資料3】は、文化庁が実施した「国語に関する世論調査(平成三十年度)」について、図書館担当の鈴木先生が、十六歳から十九歳の結果をもとにまとめたものである。また、あとの【話し合いの様子の一部】は、【資料1】、【資料2】、【資料3】について、鈴木先生と図書委員のようさんとあおいさんが話し合ったときのものである。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十点)



【資料2】 あなたの読書量が減っているのはなぜですか(主な項目)(複数回答可)  
(以前に比べて読書量が減っていると答えた16歳から19歳の回答)

情報機器(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、パソコン、ゲーム機等)で時間がとられる	73.5%
仕事や勉強が忙しくて読む時間がない	70.6%
テレビの方が魅力的である	8.8%
魅力的な本が減っている	8.8%
良い本の選び方が分からない	5.9%



[文化庁「国語に関する世論調査(平成30年度)」から作成]



【話し合いの様子の一部】

鈴木先生

図書館をもっと利用してもらおうための参考になればと思って、資料を作ってみました。【資料1】を見てください。「あなたは自分の読書量を増やしたいと思いませんか」では、「そう思う」と回答した人と「ややそう思う」と回答した人がたくさんいますね。

ようこさん

そうですね。私は読書が好きだから、もっと読書をしたいと思ってるけれど、あおいさんはどう？

あおいさん

私は、情報機器を使っている時間が多くて読書量が減っているなあ。読書をもっとしたいなと思ってるんだけど。

ようこさん

【資料2】を見ると、「あなたの読書量が減っているのはなぜですか」という質問に、あおいさんと同じことを回答している人が七割以上いるね。また、①という項目は、メディアの視聴しやうちょうという点であおいさんの読書量が減っている理由と共通しているんじゃないかな。

鈴木先生

確かにそうですね。ようこさんは、読書が好きだと言っていたけれど、②？

ようこさん

毎日、寝る前に読書をします。一日が終わって一番リラックスしている時間です。

鈴木先生

そうなんですね。ところであおいさんは、もっと読書をしたいと思ってるって言っていたけれど、読書の魅力は何ですか？

あおいさん

私は頭の中で、登場人物の姿や声おもを思い浮かべながら読みます。自由にイメージを膨ふくらませられるのが魅力です。

鈴木先生

なるほど。読書の良いところについてももう少し考えてみたいですね。

(一) 【話し合いの様子の一部】の

①

に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、仕事や勉強が忙しくて読む時間がない

イ、テレビの方が魅力的である

ウ、魅力的な本が減っている

エ、良い本の選び方が分からない

(二) 【話し合いの様子の一部】の

②

に入る鈴木先生の会話として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、読書を始めたのはいつですか

イ、なぜ読書をしますか

ウ、どんなときに読書をしますか

エ、読書の本をどこで選びますか

(三) 【話し合いの様子の一部】の傍線部分「読書の良いところについてもう少し考えてみたいですね」とあるが、あなたは読書の良いところは何かと考えるか。あなたの考えを、次の「作文の注意」にしたがって書きなさい。

【作文の注意】

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたが考える読書の良いところを一つ取り上げ、その理由を明確にして書きなさい。なお、【資料3】は参考にしてもしなくてもよい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。